

資料、1

平成30年度 第4回 ライフステージ事例検討会 報告書	
日時	平成30年10月2日(火) 17時45分～19時20分
開催施設 参加者数	金沢大学 16名 福井大学 10名 富山大学 7名 石川県立看護大学 5名 信州大学 7名 恵寿総合病院 2名 金沢医療センター 4名 小松市民病院 4名 公立松任石川中央病院 3名 石川県立中央病院 11名 浅ノ川総合病院 3名 富山県立中央病院 1名 市立砺波総合病院 6名 済生会高岡病院 6名 金沢医科大学氷見市民病院 13名 諏訪赤十字病院 3名 長野赤十字病院 1名 欠席: 飯田市立病院 富山労災病院 計 102名
テーマ	「多忙な病棟業務のなかの患者の希望 ―チームワークを育みケアに繋げる―」
発表者	福井済生会病院 OCNS 松本友梨子さん
<p>【意見交換内容】〈患者との関わりのなかで“モヤモヤ”を感じた際どのように解決しているか〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種、家族を含めてCCの必要性と・どういふことに“モヤモヤ”を感じているのか情報が不足している。どんな情報が必要かも確認が必要だということが意見交換された。 〈チームワークを育む大切な要素は何か〉 ・患者のつらさや怒りをぶつけられたつらさを多職種で共有すること、ねぎらいや尊重、どんな感情を抱えてるかなんでも話し合える風土をつくることの大切さについて意見交換がされた。 <p>【他施設からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋医学へ40年ちかく信頼してこられた方であれば、そちらからの疼痛緩和の介入の可能性も検討できたかもしれない。 ・ちがう価値観だからこそ他者へ一生懸命になるからこそ“モヤモヤ”する。こちらの思う通りの治療やケアをする方が簡単で、価値観の違う相手に対して対話を通してケアをつなげていくことがお互いの価値観が尊重していくことになっていくのだろう。 	
ミニレクチャー	テーマ:「患者の価値観を尊重するとは」